

# 事例：日常的な点検・改善

年間無事故・無違反強調月間活動(2007年度)	
開催月	重点活動の内容
3月	【最重要】積込場所・納入先構内安全パトロール
6月	1. 広報活動            立看板・安全ワッペン装着
9月	2. 運行管理            デジタコ表示の個人指導
年末	3. 車両整備点検        燃料・オイル漏れ点検など
	4. 乗務員への支給     居眠り防止食品・軍手など

協力会社 無事故防止活動・安全教育	
(安全教育)	
①5月	安全座学(集合教育)、フォークリフト実技訓練
②8月	危険予知訓練(予知・発表)
③11月	安全座学(ビデオ教育)年間成績の報告、対策

# 事例：パトロール

(2007年6月度 無事故月間パトロールチェック及び現場指導) [ ] (株) 車輦課

実施日		07年 [ ]		実施場所		[ ]		実施場所		[ ]		
実施者氏名		[ ]		車番		[ ]		車番		[ ]		
		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		
		協力会社		協力会社		協力会社		協力会社		協力会社		
チェック項目	服装	会社指定の作業服を着用しているか (安全靴・ヘルメット・あご紐)	○	指導コメント 指定服を履き足	○	○	○	○	○	○	○	
	所持品	免許証・リフト修了証(更新・免停の確認) 荷主先	○	[ ] RT [ ]	○	○	○	○	○	○	○	
		業務員の心得・緊急連絡書・ダイヤ表 エコドライブ推進手帳・要検査品用紙等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小シートは適正保有枚数を所持しているか ボックス型 平シート (枚数)	○	5枚	○	5枚	○	○	○	○	○	6枚
	車輦	① ネームプレートは付けているか	○	OK	○	○	○	○	○	○	○	○
		② 駐車時のルールは守られているか	○	OK	○	○	○	○	○	○	○	○
		③ ワンタッチのキャッチ止め(鎖)をしているか	○	指導	○	○	○	○	○	○	○	○
		④ 覗き窓は適切に、物は置かれてないか	○	現場 RT 指導	○	○	○	○	○	○	○	○
	走行時	① 雨天時、小シートを活用しているか	○	5枚	○	○	○	○	○	○	○	○
		② 交通及び構内ルール・マナー	○	指導	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 携帯電話・シートベルト等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
重点指導項目	作業時	① リフト操作時の指導	有無	作業終了後の安全指導	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	
		② 荷作り時の指導	有無	○	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	
		③ 積み付け時の指導	有無	○	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	
		④ 荷卸し時の指導	有無	○	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	
		⑤ 雨天時積み降ろしの作業指導	有無	○	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無

評価基準	
○・無	問題なし
x・有	指導内容コメント

承認 [ ] [ ]

2007/6 無事故月間用  
2007-6

## 資料3-8 安全管理体制關係

# 労働安全衛生マネジメントシステム

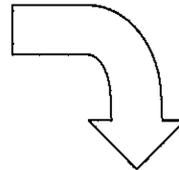
事業者(経営トップ)が「安全衛生方針」を表明

これに基づき

PDCAサイクル

**計画(Plan)**

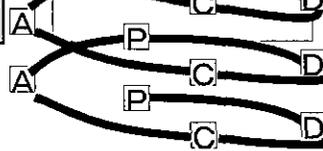
危険・有害性の調査  
安全衛生計画の作成



**実施(Do)**

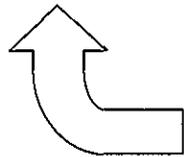
安全衛生計画に  
基づく措置の実施

安全衛生水準  
の  
段階的向上



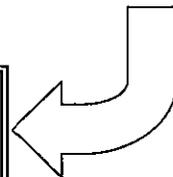
**改善(Act)**

安全衛生計画の  
改善



**評価(Check)**

安全衛生計画の  
実施状況の評価



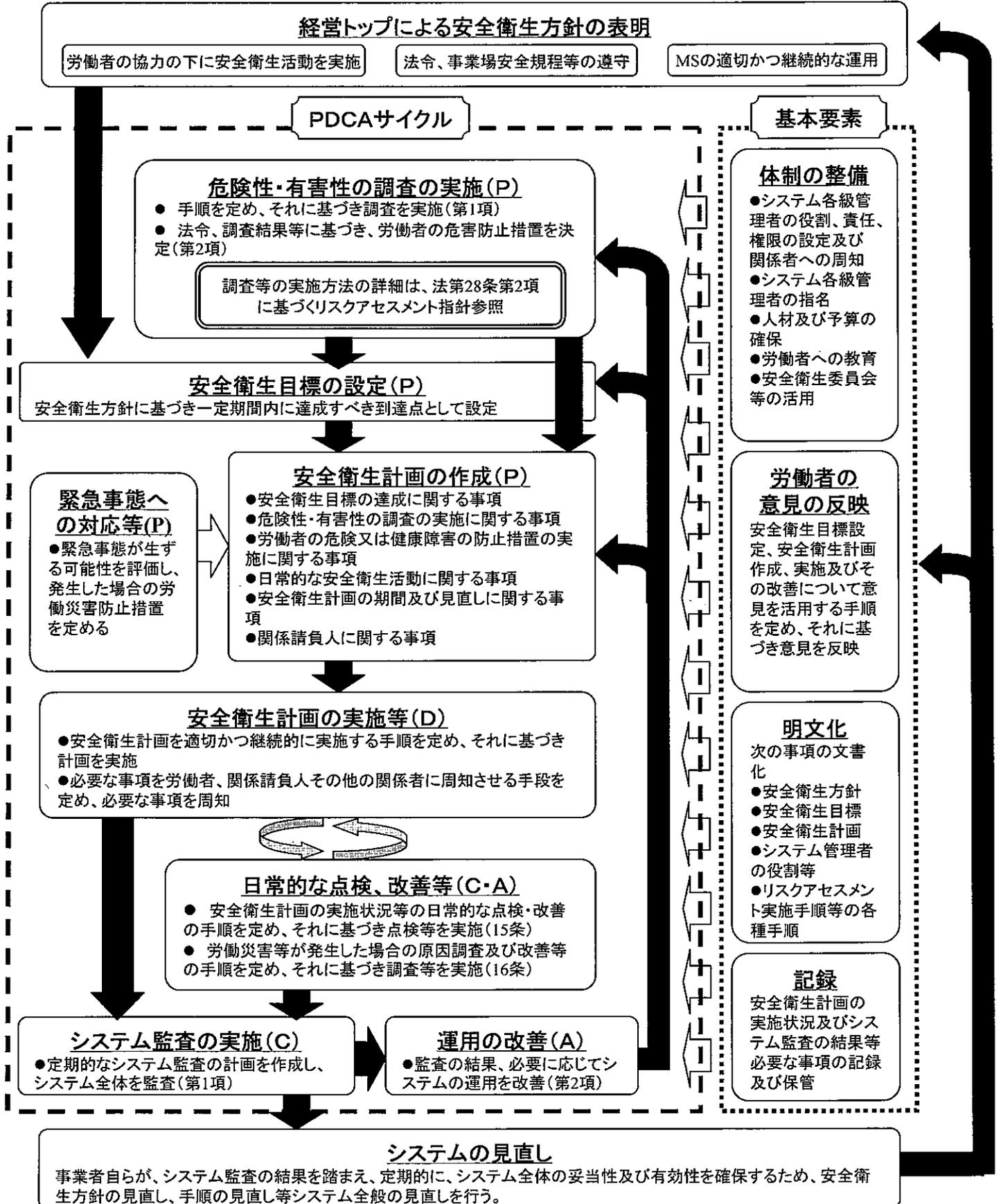
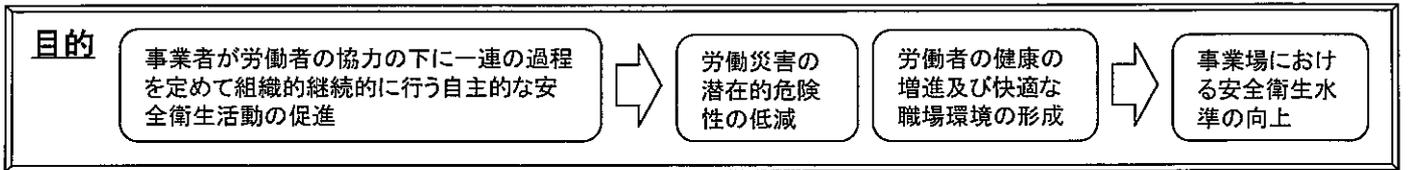
システムの基本要素

- ① 労働者の意見の反映  
(安全衛生委員会の活用等)
- ② 担当者の責任・権限の明確化
- ③ 手順の明文化
- ④ 記録の整備 等

○ 政府は指針を公表  
「労働安全衛生マネジメントシステム  
に関する指針」(平成11年4月)

○ ILOでもガイドラインを策定  
(平成13年6月)  
※唯一の国際的な基準

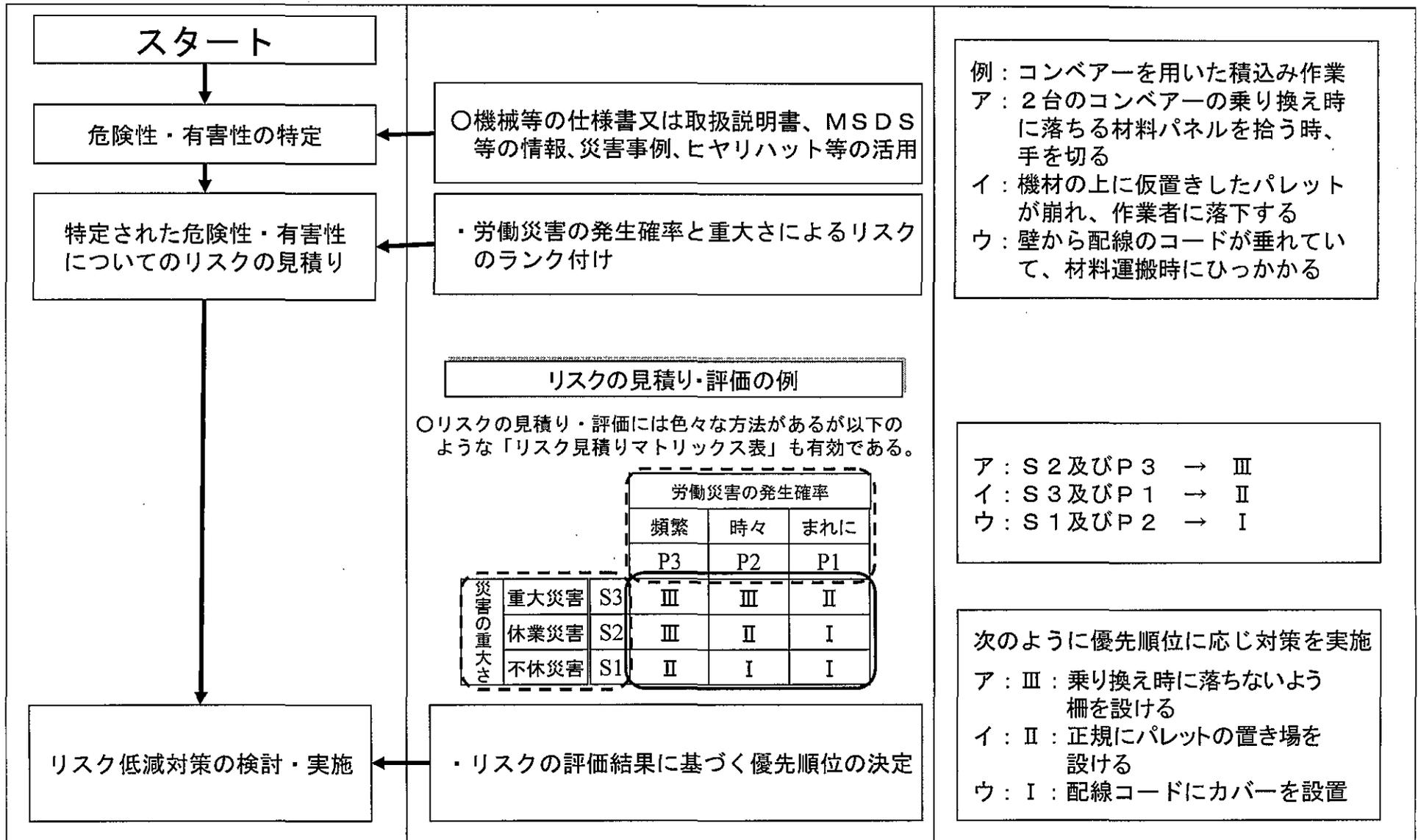
# 労働安全衛生マネジメントシステム指針の概要



# 職場の危険性又は有害性等の調査等及びその結果に基づく措置

※ 改正労働安全衛生法(平成18年4月施行)において事業者の努力義務化

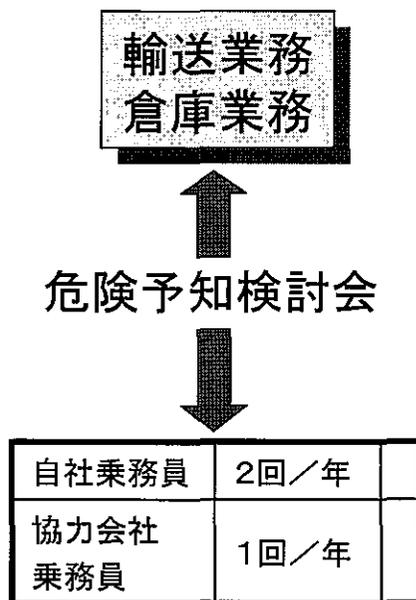
## 個々の事業場の実態や特性に応じた自主的な安全衛生対策の実施



# 事例：年度安全衛生方針

2007年度 会社運営方針	親会社	安全と品質は、全てにおいて優先することを認識し、ステークホルダー(利害関係者)から評価されるスキーム(仕組み)づくりと着実な取り組み
	子会社	環境、安全、品質をテーマとして掲げ、全社員が一致協力し地域、社会貢献と企業発展に一層努力する

# 事例：危険性・有害性の特定



危険および危険予知事例	推進内容
荷主出荷の中で、不良パレットの使用が度々ある	荷主へ要請 48件
荷主構内で積込み上路面が悪く、製品事故の危険	
荷主構内でカーブする付近に製品を置かないで下さい	社内で検討 40件
積込場でトラック、フォークリフトの周りを人が通らないでほしい	
保管固定棚の奥行が狭いので保管パレットがはみ出し危険	自己防衛 23件